

杜の都の環境をつくる審議会  
第6回「仙台市みどりの基本計画」改定検討部会 議事概要

日 時：令和3年1月18日（金）16時00分～18時00分

会 場：戦災復興記念館 4階1会議室

出席委員：舟引部会長、池邊委員、小貫委員、近藤委員、福岡委員、渡邊委員（計6名）

欠席委員：なし

事務局：建設局次長、百年の杜推進部長、百年の杜推進課長、同課全国都市緑化フェア推進担当課長、同課主幹兼企画調整係長、同課緑化推進係長、同課緑地保全係長、公園課長、同課公園整備担当課長、河川課長  
（計10名）

## 1. 開会

○事務局（岡田課長：百年の杜推進課）

—開会—

—議事録署名人の指名、傍聴ルールの説明—

・議事録署名人：舟引部会長、池邊委員

## 2. 議事

### (1)次期仙台市みどりの基本計画中間案について

○事務局（菅原主任：百年の杜推進課企画調整係）

—今後のスケジュール、資料1について—

○事務局（和泉係長：百年の杜推進課緑化推進係）

—緑化重点地区について—

○舟引部会長

・資料に概要版がないが、概要版があるとわかりやすい。

○事務局（菅原主任）

・パブコメ用の概要版は作成中である。来週の審議会では提示したい。

○小貫委員

・みどりの将来イメージ図は分かりやすくなり、期待を感じる絵になったと思う。

・個別の事業・取組みが複数ページに渡り掲載されており、見にくく感じる。まず「重点的な取組み」を記載し、次にその他の取組みを掲載すると良いと思う。P79以降は事業の羅列のため楽しさを感じない。また、取組みイメージのイラストについては、そのイラストがあることで分かりやすくなることを意識して作成できると良い。いわゆる計画書としての作り方に工夫が必要と感じる。

○舟引部会長

・P79～88で読者の意識が途切れてしまうため、これを巻末にまとめることが考えられる。

○小貫委員

・P53の施策⑤-1はさらっと記載されているが、これをもう少し丁寧に記載した方が良いと思う。

○舟引部会長

・ここも事業の羅列となっているため、若干意識が途切れるかもしれない。

○近藤委員

- ・最後に表が掲載されていても読者は見ないと思うが、途中で色々入ってくるよりはすっきりする。
- ・「重点的な取組み」のみ左側に太い帯があるのが気になる。

○舟引部会長

- ・現状の作り方は、全体像を見せずに個別の内容を提示している。全体像を見せてから個別の内容を示した方がわかりやすい。
- ・近藤委員の発言にもあったが、「重点的な取組み」のみ左側に太い帯があると不自然さを感じる。

○小貫委員

- ・写真の大きさが違うところが気になる。ぱっと見て綺麗であること、読みやすいことは計画書として大事なことだと思う。

○舟引部会長

- ・文章の中身、写真、図柄など、コンテンツが結びつくようになると良い。

○小貫委員

- ・「取組みのイメージ」は、どのイラストを見ても同じイラストに見えてしまうため、改善できると良い。

○舟引部会長

- ・「重点的な取組み」の説明を補完する「取組みのイメージ」と、その展開イメージとなる写真等とで、表現のフォーマットを変えてみてはどうか。「取組みイメージ」の図がなくなってしまうと寂しくなる。

○近藤委員

- ・P38 のグリーンインフラの定義が狭いという意見があったが、この定義は杜の都環境プランと同じである。そのため、文章としては「本市ではこういう風に定義しています。」とした上で「本計画の策定にあたってはこのように捉えています」とした方が良い。
- ・「グリーンインフラ研究会」において「自然が持つ多様な機能を賢く利用することで、持続可能な社会と経済の発展に寄与するインフラや土地利用計画」と広い意味で記載されており、みどりの基本計画に相応しいと思った。

○事務局（岡田課長）

- ・仙台市の基本計画と環境プランの定義と合わせていため、1 つの共通認識として位置づけた。その上で、みどりの基本計画における考えを表現したい。

○渡邊委員

- ・P38 の下から2行目の、市街地のヒートアイランド現象緩和の話の途中で、「海風の流入により」とあるが、「田園・海岸は、冷涼な海風を補充し、その流入により」とするなど表現を詳しくた方がわかりやすいと思う。

○池邊委員

- ・P42～43において、自然環境保全、防災・減災など内容が様々記載されているが、「みどりと共生するまち」の一文で表現すると、何十年前と変わらないように感じてしまう。
- ・「みどりで選ばれる」も、「みどりの質で選ばれる」の方がより適切でないかと思う。
- ・基本方針の並び順もいまいちと感ずる。
- ・基本方針をみて市民が「何かしよう」という感じにならないと思う。
- ・「誇りとするまち」は、「住んでみたい、住み続けたいと思うまち」という一言に括れると思う。
- ・「みどりとともに人が育つまち」は、例えば「豊かな心を育む」というような言葉の方がより

良い表現だと思う。

- ・最も強調すべきことは、今回の改定により目指す方向性だと思う。「みどりの量から質へ」、「人に選ばれたい」、「市民には誇りを持ってほしい、自慢したいと思ってほしい」、「健全で、笑顔で、豊かな心を仙台では育める」などのメッセージ性が感じられると良い。

○舟引部会長

- ・P41 は大事なところを説明し、「仙台」が主語になるような形で書くと良いと思う。また、「仙台と他のまちで違うところ」と「前回の計画から新たに追加した取り組み」ということが分かるよう P41 に追加すると良いと思う。P41 は第 2 章の見取り図としてある意味があり、文章、チャートなど整理の仕方があると思う。

○福岡委員

- ・内容の分量があるため、概要版があると良いと思う。複数ページでも構わない。
- ・P48 の流域治水に関して、流域治水法が改正される可能性があるとの話を聞いている。みどりとして売り込みをしなければならないことはたくさんあると思う。
- ・P89 の「区ごとの主な事業・取組み」において、P40、48 のグリーンインフラに関する土地利用も絡めた考え方があまり伝わらず、公園における雨庭や、透水性舗装などへ矮小化してしまっている。区ごとのグリーンインフラの方針へ P40、48 の内容を落とし込めると良い。

○小貫委員

- ・市の全体像として P37 のような大きいイメージがあるが、区ごとに全体像や実際に街路樹を植える場所、新しく重点的に整備する場所など詳細がわかる絵が必要だと思う。
- ・絵は A4 で 1 ページとするなど大きく見たい。
- ・現在の計画の P145 において細かく描かれた図があるが、今回の計画にはそれがない。全体の計画図はこのレベルで記載すべきだと思う。現在の計画と今回の計画の絵を比較して、10 年間で何を整備するのかわかる絵だと良い。

○事務局（岡田課長）

- ・内容が公園緑地へ矮小化してしまっていたが、例えば若林区は防災についてまだ記載できることがある。また、森林整備や街路樹の路線を可能な限り記載するようにしたい。

○舟引部会長

- ・区ごとの事業が 5 つの基本方針に沿って記載されているが、区ごとの基本方針があり、そこに事業がぶらさがる形にし、事業の必然性がわかるようにした方が良いと思う。
- ・小貫委員の意見にあった施策方針図は必須だと思う。現状、文字でリスト化しているためビジュアル化は可能だと思われる。

○事務局（岡田課長）

- ・次回の審議会までには時間がなく難しいが、最終的には現在の計画と同様の図を作成したい。

○小貫委員

- ・P59 の「みどりの回廊づくり」において、現状出来上がっている箇所と、今後 10 年間で重点的に進める箇所が、それぞれ明確にわかる図になると良い。

○舟引部会長

- ・「みどりの回廊づくり」は、今回の計画で重点的に取り組むこととしていたが、事業が整理された結果埋没してしまい、わかりにくくなってしまったため、表現の工夫が必要だと思う。

○小貫委員

- ・計画の中に「質の高いみどり」と記載が多いが、その定義はあるか。

○事務局（岡田課長）

- ・現在、策定を進めている緑化ガイドラインの中で「質の高いみどり」を具体的に示す予定である。

○小貫委員

- ・ガイドラインにおける「質の高いみどり」はどのようなものか。P57 において NTT 仙台中央ビルに「質が高い緑化が行われた」とあるが、これの評価のポイントは何か。

○事務局（岡田課長）

- ・景観、雨水貯留機能、休憩、暑熱緩和などみどりが持つ様々な機能の観点から質を捉えたものである。

○小貫委員

- ・そういった哲学をみどりの基本計画に記載できると良い。

○近藤委員

- ・複数の機能を持っていることに加え、景観上ものすごく機能しているというのを加えれば「質の高い」と言えるのではないかと思う。

○小貫委員

- ・「質の高いみどり」は色々なところで記載があるため、定義を記載するべきと考えられる。

○舟引部会長

- ・Green の最上級を目指すことも記載した方が良いと思う。

○福岡委員

- ・P89 以降の区ごとの計画は、スケールがまちまちであり、地図に事業がそのまま張り付いているような感じである。
- ・5 つの基本方針は、区ごとに全てが均等に実施されるものではなく、区ごとに基本方針の濃淡があると思う。全体の方針図があった上で、「海岸公園整備事業」や「公園内の貯留浸透」など細かく事業を落とし込むべきだと思う。
- ・5～10 年後に見返したとき、達成した街路樹の本数や公園面積、導入されたグリーンインフラについて、図で比較できると望ましい。それを区に任せるとしても、全体のフォーマットは統一されていた方が良いと思う。

○小貫委員

- ・現在、秋保のソーラーパネルが問題となっているが、全国で山林におけるソーラーパネル設置が問題となっている。みどりの基本計画ではこの問題をどう取り扱うのか。

○事務局（岡田課長）

- ・仙台市として、地球環境の観点から太陽光発電を推進する立場を取っている。一方で、それにより緑地が破壊されるのであれば単純に推進するわけにはいかない。実際、緑被率の分析結果より、太陽光発電による影響は非常に大きいと認識しており、緑地や山林における太陽光発電については、一定程度抑制していくという立場を取っている。しかし、だからと言って、太陽光発電を全て締め出してしまうことにはならない。計画の中でそれを具体的に示してはいない。

○渡邊委員

- ・環境基本計画では脱炭素という方向へ進んでいるが、今のような仙台市としてのスタンスが記載されている。みどりの基本計画に記載するかどうかは別として、検討する意義はあると思われる。

○舟引部会長

- ・みどりを守るという公益と、エネルギー問題に対処するという公益がぶつかったとき、どちらを優先するか非常に難しい問題である。既に環境基本計画において記載があるのであれば、それと合わせると良いと思う。
- ・この問題を解決するためには、既に他の政令市で事例があるように、どこのみどりを守るべきで、どこのみどりの優先度が低いのかなど、仙台市のみどりの重要度の分析が必要である。

それをやっていない現状では何とも言いようがない。次の計画までの宿題になる。

○事務局（岡田課長）

- ・P16の「緑地保全」において、先ほど話したことが記載されていた。

○小貫委員

- ・P34の田園の絵は田んぼの向こうに街が見えており、仙台らしくて良いと思う。ここの文章は海岸側だけの話であるが、P15の「緑被分布総括図」を見ると農耕地は泉の方にも広がっている。海岸近くの田園を特筆するのは良いが、田園全体を示すような書きぶりにした方が良いと思う。

○事務局（岡田課長）

- ・ここでは東部地区のみどりの骨格について記載をしていたが、田園は内陸部にもあるため、それにも触れるよう修正したい。

○舟引部会長

- ・次回の審議会まで時間はないが、次回の審議会では今日の意見が可能な限り反映された資料ができると良い。

#### 4. 閉会

○事務局（岡田課長）

—閉会—